

磐城春秋

第三七七號
發行所 磐城市電報局
社 秋田印刷所

平小鐵道問題

愈々實現の曙光
星氏説明、可決

五日の建議委員會で

福島縣選出の全代議士の連署して提出した平小鐵道線路決定及び工事促進に關する建議案は五日の建議委員會に於て星一代議士が説明可決となつた。

火葬場の修理
縁起かついで

平市の市營火葬場の火葬爐が甚しくいたんで修理が急務となつた。...

座ルエミル

純文藝新劇東京ルエミル座が地方文化の向上をめざして来る廿日小田炭礦を皮切りに郡内各礦山勞組、各地青年團文化部、各地區文化協會の主催もしくは後援の下に移動公演せらる。...

町村自治會館計畫

石城郡町村長會評議員會は十四日平市マルトモホールに開き、町村制改正記念に自治會館を建設する計畫を協議する。

人物 所長學第一頁の

大内善藏君

理工科に學んだ純粋の技術者だ。併し實業に川俣の羽二重業といふのだから生れながら技術に縁が深かつたといふべきである。



貝殼追放

△國争には團結が必須。未だ結束ならざるに、強引セネストに突入し、支離滅裂、却つて己の首を己の手にて締めるが如き愚を演ずることなかれ。...

來年度より
磐女五年制に
どうなるか平女は

高等女學校が來年度から五年制となるが、縣ではさしあたり四市の縣立高女に五年制を實施する事に決まらぬ。...

消息

小宅銀二郎氏 元星製薬主事 田人森林組合に勤務

各校運動會

- 豊作の秋と共に良い子の待ちわびる運動會が迫つて來たが、この程市内四國民學校の運動會日程が決定した。
第一 十三日(日) 第二校庭
第二 廿二日(火) 同校校庭
第三 二十日(日) 同校校庭
第四 十五日(火) 同校校庭

いわたしの間

平市南町古川新治郎(三)は九日午前八時頃驛前でいわたしの買取りを賣つてゐるのを平市員に檢舉同人は八日小名濱町上野台金之助から漁業會に納入すべきものを一貫八圓で七百貫買受けハイヤーで運搬賣捌いてゐたもの。

日農協結成

日農石城地方協議會結成大會は八日平市公會堂に開き

戦災者同盟生る

泉村の戦災者百卅五名は今回戦災者同盟を結成、役員公選の結果委員長に山岡助(副)田中啓の両氏が當選、今後就職の斡旋や協同組合の設立、住宅問題の解決等に乗りだす。

阿康告知板

冬の病氣(シモヤケ、ヒビ)の豫防は今から
① 肝油球(マックスAD)
② 皮膚保護薬
③ 腸胃、セキ薬
右衛生資材準備に御利用下さい。

阿康薬局

平市町御座街 電話四十四番

内木外科醫院

平市大町二番地 電話六八三番

少年の町」役場

鈴木傳明 平市公會堂前 電話六〇三番

神谷工業原料株式會社

社長 神谷兼次郎 平市町五五六 電話 六五六 六六五

文 藝

投稿歓迎 可紙上匿名

塵塚より (二)

天出 垂夢

もう時計は正確に二十時を指してゐる。目が痛い。然し私は...

旅行けば

満子

大らかな顔ひを付けて仰ぎみる宿命地蔵のほそきうなを...

本

讀書シーズン

貴女はどんな本を

秋の夜長と共に燈火を眺むべき時...

諸會合一束

- 十二日(土) 午後六時より市第三國民學校講堂で草野英平氏の物...

就職案内

- 平働勞所より 土木男二十名 十八〜五十才...

原桑 事務所 代理 計理 桑原 徹

御手輕な御食事 食堂 米久

日本醫藥團平病院 診療科目 内科 外科 眼科 耳鼻科...

久野電機工業所 本市二丁目九番地

新鮮な御總菜 小西食品店 釜屋商店

平會館 本市三丁目 電話六二四番

磐城自動車工業株式會社 本市五月町 電話三七〇番

福島縣指定事業重點工場 平硝子製作所 平木工製作所

茂木カメラ店 本市三丁目 現像・焼付・引伸し

タペシユーム製劑 タペシリン軟膏 其ノ他有名藥

金成醫院 科内 科外 彌鐵橋諸科

日本巴布藥工業株式會社 日本巴布藥株式會社